

科目番号		52017	分類	生殖健康学	履修者	高度実践助産コース			学年	
科目名	ウィメンズヘルス演習 (Practice for Women's Health)								1-2	
									配当セスター	
									通年	
担当者	○朝澤 恭子 他5名			区分	助産師免許取得プログラム	必修	単位	1	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概 要】 ウィメンズヘルスにおけるリプロダクション領域に必要な助産のケアモデルを構築するために、女性のライフサイクル各期における健康教育プランを作成し実践する。 【目 標】 1.思春期、成熟期、更年期、老年期のいずれか特定のライフステージにおいて、ヘルスケアニーズをもつ女性への健康教育プログラムを作成できる。 2.思春期から更年期の女性を対象に健康教育を実践し、評価できる。								1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
								2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
								4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
							○	6.研究・開発能力		
								7.倫理的意思決定能力		
授 業 計 画										
回	内 容							担当教員		
第1回 (1年後期)	保健指導プログラムの作成・支援プログラムの演習 思春期・成人期・更年期・老年期女性への健康に関する集団指導の概要							朝澤 他5名		
第2回	思春期または更年期の健康教育プログラムの作成検討									
第3回	健康教育プログラムの対象者およびテーマ設定、指導目標、指導内容抽出									
第4回	プレゼンテーション、ディスカッション、課題設定									
第5回	ワークシートを用いた指導素案作成									
第6回	プログラム指導案における目標と内容、媒体の加筆修正									
第7回	ワークシートを用いた指導案作成									
第8回	プログラム指導案および媒体の作成、加筆修正、指導案暫定版の完成									
第9回 (2年前期)	指導目標、指導内容、運営、時間配分、媒体の修正									
第10回	健康教育プログラムの指導案の修正									
第11回	指導目標、指導内容、運営、時間配分、媒体の修正									
第12回	保健指導プログラムの作成・支援プログラム実施									
第13回	指導案に基づきリハーサル実施、評価および最終修正									
第14回	指導案完成版に基づきプログラム実施									
第15回	実施したプログラムの評価指標に基づく評価									
事前・事後 学習	事前学習：参考図書の該当部分を概観する。 事後学習：配布資料の復習および自己課題の加筆修正。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に組み合わせること。									
評価の方法	課題 50% プレゼンテーションおよびディスカッション 50%									
参考図書 ・資料等	◎助産学講座 5 助産診断・技術学Ⅰ 第7版 堀内成子他 医学書院									
備 考	学習方法：各フィールドにおける個別・小集団指導の実施・見学、 プレゼンテーションとディスカッション オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。									